

守山の火まつりVRコンテンツ作成業務 プロポーザル評価基準

区分	評価項目	評価内容	評価の着眼点	配点
共通	事業目的・コンセプトへの適合性	仕様書の目的及びコンセプトに合致した提案か	・VRの強みを活かし、火まつりに参加しているような臨場感・没入感を得られる内容か。 ・祭礼への興味・誘客、保存継承、学校教育・一般向けPRという本業務の目的を総合的に踏まえているか。 ・勝部・住吉双方の特徴を活かした企画となっているか。	10
共通	企画の実現性・撮影計画	本祭で確実に成果を得られる具体的な提案か	・3～5分程度のコンテンツとして構成が明確か。 ・仕様書で求める必須場面を確実に収録できる計画か。 ・本祭が原則一度きりの撮影であることを踏まえ、予備機材・バックアップ等を含むリスク対策があるか。	10
共通	価格	費用対効果が適切か	・提案内容に対して見積価格が妥当で、費用対効果が高いか。	20
民俗	保存・継承への有効性	民俗文化財としての価値を損なわず、保存継承に資するか	・勝部・住吉の火まつりの歴史、特徴、祭礼行為、担い手の役割を適切に理解しているか。 ・参加者でなければ見られない視点や祭礼の動き・雰囲気、次世代の担い手へ伝える内容か。 ・過度な演出や加工により祭礼の実態を誤って伝えるおそれがないか。	10
民俗	周知・教育活用	文化財の価値を広く伝え、学校教育・PRに活用できるか	・児童・生徒や一般市民にも火まつりの魅力・価値が理解しやすい構成か。 ・実際の祭礼への関心や参加意欲につながる内容か。 ・保存団体の継承活動、市の教育・展示・周知事業で継続的に活用できるか。	10
VR	VR酔い・安全性	不特定多数、とりわけ子どもの利用を想定した安全な提案か	・一人称視点の激しい動きによるVR酔いを抑える撮影・編集方法が具体的か。 ・視点の安定化、一人称／第三者視点等の使い分け、視聴時間等が適切か。 ・小学生を想定した利用、体調確認、転倒・衝突防止等が考慮されているか。	10
VR	機器・撮影方式・継続運用	本業務に適した技術選択で、将来も運用しやすいか	・180度／360度等を場面に応じて適切に選択し、画質・音響・没入感のバランスが取れているか。 ・VR機器の装着性、保守性、故障・更新への対応が考慮されているか。 ・オフライン利用、PC・動画サイト等への展開、将来のコンテンツ追加が可能か。	10
地域	祭礼を妨げない撮影手法および撮影体制	祭礼実施者・観客の安全と祭礼進行を優先した撮影計画か	・撮影者、固定機器、装着カメラ等が祭礼参加者や観客の動線・祭礼動作を過度に阻害しないか。 ・火の奪い合い、松明への点火・乱舞等の危険を伴う場面で現実的な安全対策および撮影手法が提示されているか。 ・保存団体との事前協議、現地確認、リハーサル等を十分に行う計画か。 ・住吉神社・勝部神社の双方に対応できる2班体制等の人員配置が具体的か。 ・責任者、撮影、音声、編集等の役割分担が明確か。	10
地域	祭礼理解・保存団体での活用性	祭礼実施者から見て内容が適切で、実際に使いやすいか	・勝部・住吉それぞれの火まつりの特徴、進行、参加者の役割を十分理解しているか。 ・新規加入者への説明・技能継承に役立つ内容か。 ・保存会員が特別な知識なく機器・コンテンツを利用でき、操作説明や運用支援も現実的か。	10
合計				100